

Industry4.0（第4次産業革命）におけるものづくりについて講演

産業界では、ITやビッグデータ、人工知能といった革新技術の進展による“次世代ものづくり”が注目されており、世界のものづくりの現場で何が起き、どのような対策を講じるべきかが課題となっています。そのような中、平成28年2月9日(火)に上越市市民プラザにおいて「第4次産業革命を“迎える”中小企業の備え」をテーマに本学原利昭副学長が講演を行いました。

講演では、IoT(Internet of Things)をものづくりの現場で活用するためには、収集した情報を分析し、様々な情報と統合することによって、新たな発見を見つけ出すための解析力が必要であることを事例を交えて説明を行いました。また、得られた結果を現場や経営へ効果的にフィードバックすることなどについて紹介しました。



村上地域産学交流会を開催

本学は、大学の持つシーズを知っていただき、産学連携による共同研究や受託研究等につなげるため毎年、各地域に出向いて地域産学交流会を開催しております。平成27年10月9日(金)に村上市教育情報センターにおいて、村上地域産学交流会を開催しました。

交流会では、本学の教育・研究の取り組み状況の紹介の後、「アディティブマニュファクチャリング これからのものづくり」をテーマに山崎泰広教授が技術講演を行いました。その後、笹川圭右助教が講師となり、高性能なノートパソコンを持ち込み「シミュレーションソフトを活用した入門セミナー」の実習セミナーを行いました。



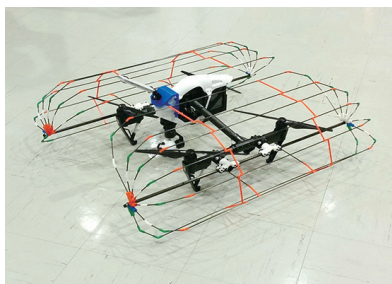
ものづくり開発塾を開催

柏崎技術開発振興協会と本学主催による「ものづくり開発塾」を開催しました。昨今、利用拡大が見込まれるドローンは、輸送分野や設備保全などの様々な分野で活用が期待されています。今回は、ドローンの機器構成や活用方法を考え、生産設備のメンテナンスやプラント建設現場等でどのように実用化していくかを学ぶことを目的に、「ドローン技術のものづくり現場への活用を考える」をテーマとして開催しました。まず、12月にドローンの活用や注意点等について理解を深め、1～2月には実際にドローンの防護カバーの設計・製作に取組み、3月には製作した製品を一体化させてデモンストレーションを行いました。

今後もこのような機会により、企業の皆様に新技術の活用について理解を深める講座等を開催して参りたいと思います。



製作の様子



全球カメラ搭載と防護カバー装着の状況



上空飛行デモ

編集後記

株式会社テクノリンク様に本誌インタビューで訪問させていただきました。人々の健康を第一に想う製品づくり、価値の高い製品提供を通じて社会貢献する熱い想いを感じました。そして、時代のニーズの先のまた先を見据えた開発への姿勢に大変感銘を受けました。本学も、今後の産業界のニーズや求める人材育成に応えるべく、昨年4つの学科を統合して工学科に改組しました。平成28年度はその2年目となり、学生は「機械・素材科学系」、「知能機械・情報通信学系」、「建築・都市環境学系」の3学系に分かれて学びます。今後も、より一層、産業界の期待に応えられる教育研究に努めて参りたいと思います。

発行

新潟工科大学地域産学交流センター広報誌 第11号
平成28年3月31日
新潟工科大学地域産学交流センター運営委員会

連絡先

新潟工科大学地域産学交流センター
〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719
新潟工科大学 キャリア・産学交流推進課内
TEL : 0257-22-8110
FAX : 0257-22-8123
E-mail : career-sangaku@adm.niit.ac.jp